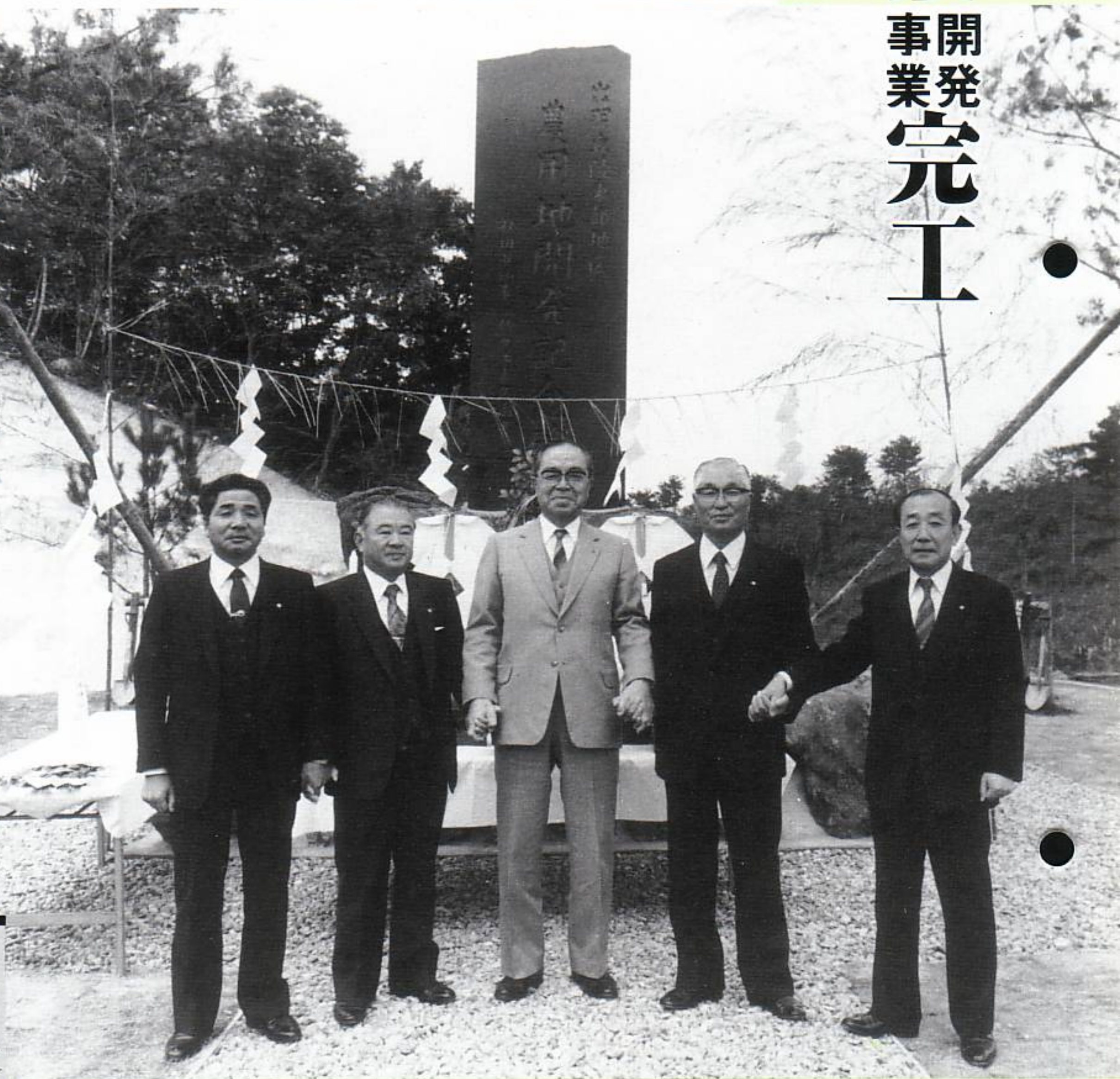


出羽丘陵 開発事業 完工



▶大森町夏見沢団地に建てられた「農用地開発記念碑」の除幕式

豊かな自然みんなで 拓く町 伸びる町



▶事業の完工を記念し佐々木県知事、四町長によって行われた記念植樹（写真は畠山町長）



▲出羽丘陵開発事業が完工し、十月二十六日大森町を会場に除幕式、完工式、祝賀会が行われました。写真（中央）は除幕式後、事業の完工を喜び握手する佐々木県知事と四町長（右から富田雄物川町長、阿部大森町長、知事、畠山町長、佐々木大内町長・記事は3面）

広報

びがしゅわ

1988=11
No.404

昭和63年11月1日発行・毎月1日
編集・発行 / 秋田県東由利町役場総務課

- 出羽丘陵開発事業6年間の
工事に幕
プ
- 出羽丘陵開発事業団地マッ
- 今年の町功労者
- 保険税23年連続完納に栄誉

210haの一大生産基地誕生 出羽丘陵開発事業6年間の工事に幕



板戸団地

本町農業振興の一大プロジェクトである出羽丘陵開発事業が、六年間にわたる長期工事に幕を下ろしこのほど完工しました。

同事業は正式には「出羽丘陵東部区域農用地整備公団事業」と呼び、出羽丘陵の東部に位置する大森町、雄物川町、大内町、本町の四町が参加。低位・未利用地を草地開発し、経営規模の拡大と近代化を図りながら、粗飼料等の安定的供給と生産性の向上を図ろうと昭和五十八年に着工しました。工期は当初七カ年の予定でしたが、関係者の熱意と協力により一年間短縮、今年完工したものです。

東部地区全体の農用地開発面積は五百七〇畧で、幹・支線農道、機械施設の整備などを含めた総事業費は百三十二億五千万円。このうち本町分事業費は全体の四一％を占める五十四億一千九百万円となっています。

道路は26キロを改良・舗装

本町の同事業参加農家は当初百五戸の加入申し込みがありました。が、最終的には百七十三戸となりました。

所（五面に一覽表掲載）で、総面積は約二百十畧となっています。これは町の耕地面積の約一五％に当り、わずか六年間で、本町に粗飼料、飼料作物などの一大生産基



事業の成功を祈り、6年前に行われた着工式（右から故東海林大内町長、畠山東由利町長、富田雄物川町長、阿部大森町長）

これらの事業費に対しては、基盤整備関係には国が七五％、県が一・五％、施設整備関係には国が四五％、県が二・五％を助成、残りは加入者が三年据置の二十年間元利均等償還方式で返済していくことになっています。

加入者の声

量よりも質の時代に向けて



佐々木善一郎さん（大琴）

稲作を取り巻く情勢が非常に厳しい時期に、複合作目である畜産の基盤が整備されたことには非常に意義深いものがあります。量よりも質が求められるであろう今後の消費情勢下において、良質の肉用牛の生産を推進すると共に、堆肥の活用による良質の米や野菜の生産に、本腰で取り組みたいものです。

息ながく頑張りたい

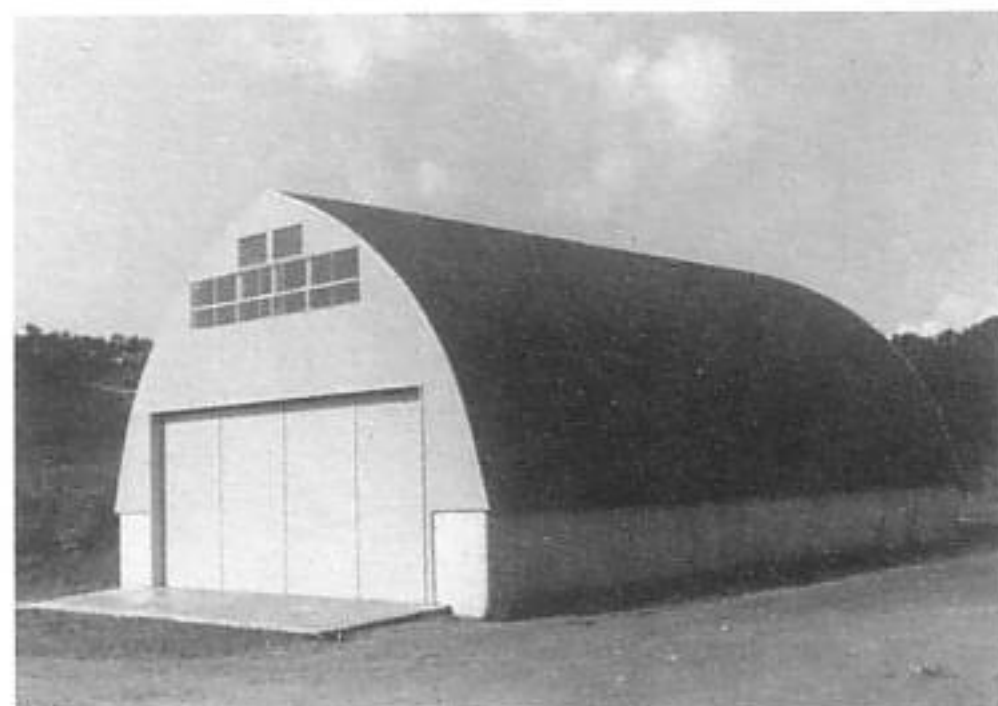


高橋重四郎さん（館合新田）

牛を飼うこと二十数年。昔は山草や僅かばかりの牧草地で、鎌で草を刈るのが普通でした。しかし今は広い草地に大型の機械、点在する新しい畜舎。昔の人が見たらびっくりするに違いありません。こんなに素晴らしい基盤で牛飼いができるのも、農政の援助あってこそです。息



幹線道路（善徳団地）



農具庫（板戸団地）

250人が完工祝う

大森町で 完工式典

出羽丘陵開発事業の完工式・祝賀会は十月二十六日大森町民体育館で、国・県議員、国・県・町関係者、受益者など二百五十人が出席して行われました。

に、低迷する農業に活力を与えたい」とあいさつしました。引き続き同会場では祝賀会が行われ、事業の完工を出席者らは心行くまで祝い合っていました。

式典では、農用地整備公団本社の杉山理事長の式辞に続き佐々木県知事が、「農業の国際化が進行する中で、消費者のニーズに即した低コスト、高品質の畜産物の生産が行われるとともに、出羽丘陵の風土にふさわしい大家畜経営が確立されることを期待する」とあいさつ。事業経過報告などに続いて同事業促進協議会長の阿部大森町長が、「今後の畜産振興を始め、地域経済に与える影響は大きい。完工を機会に関係四町は心を新た



大森町民体育館で行われた完工式

長く、立派なものにするよう頑張りたい所存です。
創意と工夫で切り拓きたい



木島 成寿さん
(岩館)

自分が現在耕作できるのは、先祖代々が、草地を拓きその基盤を守ってきたからです。その草地が、農業の近代化に合わせ見違えるほどに生まれ変わりました。今後この立派な草地をいかに有効に活用していくか、我々の手腕にかかっています。近代化とともに厳しさを増す農業情勢ですが、創意と工夫で新しい農業を切り拓いていきたい。

地が誕生したことになります。

また、草地造成とあわせて整備された農道は約二十六キロで、そのほとんどを舗装、町内の幹線道路に劣らないすばらしい道路が出来上がりました。これらは産業道路としてのみならず、生活道路としても大きく貢献しています。

このほか同事業では、畜舎十八棟（うち増築五棟）、農具庫五棟、サイロ百五十五基のほか、トラクタ―二十二台をはじめ多くの機械施設を整備。生産基盤の確立された今後の農業振興に、大きな期待が寄せられます。

―草地造成総面積二百十、道路延長約二十六キロ、総事業費五十四億一千万円―「出羽丘陵開発事業」本町事業分のトータルである。着工以来、六年の歳月を経て完成した一大プロジェクト。わが町にとっては正に世紀の大事業であり、喜びにたえない。「稲作プラス畜産」の町づくりを掲げ、「出羽丘陵の自然と調和した町づくり」を目指すわが町。さきに圃場整備事業を終え、そしていま、この事業の完成により農業近代化の二大

基盤整備を終え、新しい農村時代を迎えたこととなった。

省りみれば、着工当時子牛二頭の市場平均価格が十八万円という低迷期に購入を行い、畜産の先行

番。幸いにも、牛肉自由化の波の中にもかかわらず、いま和牛の市場価格が高値安定、一頭平均四十万円を大きく超えるという好況の中で事業竣工の喜びを迎えること

つ道は、良質の肉生産により、消費者のニーズにあった良いものを、より安く提供すること以外に道はない。国では「肉用子牛の価格安定」のための特別立法を検討して

町長 出羽丘陵開発事業の完工に寄せて

随想

町長 畠山 亮二郎

不安の真ただ中の事業出発であった。加入者の脱落、面積変更、工事変更など苦難を乗り越えての完工だけに、その喜びもひとしおのものがある。だが、これからが本

ができた。でも、やがては輸入牛肉による影響があることを覚悟しなければなるまい。いまから畜産農家の足腰を鍛え、その時に備えなければと思う。自由化に打ち勝

おるようで、それによると、自由化によって子牛価格が水準を下回った場合に、生産者補給給付金（不足払い）の名目で補てんしようという案のようである。また、国で

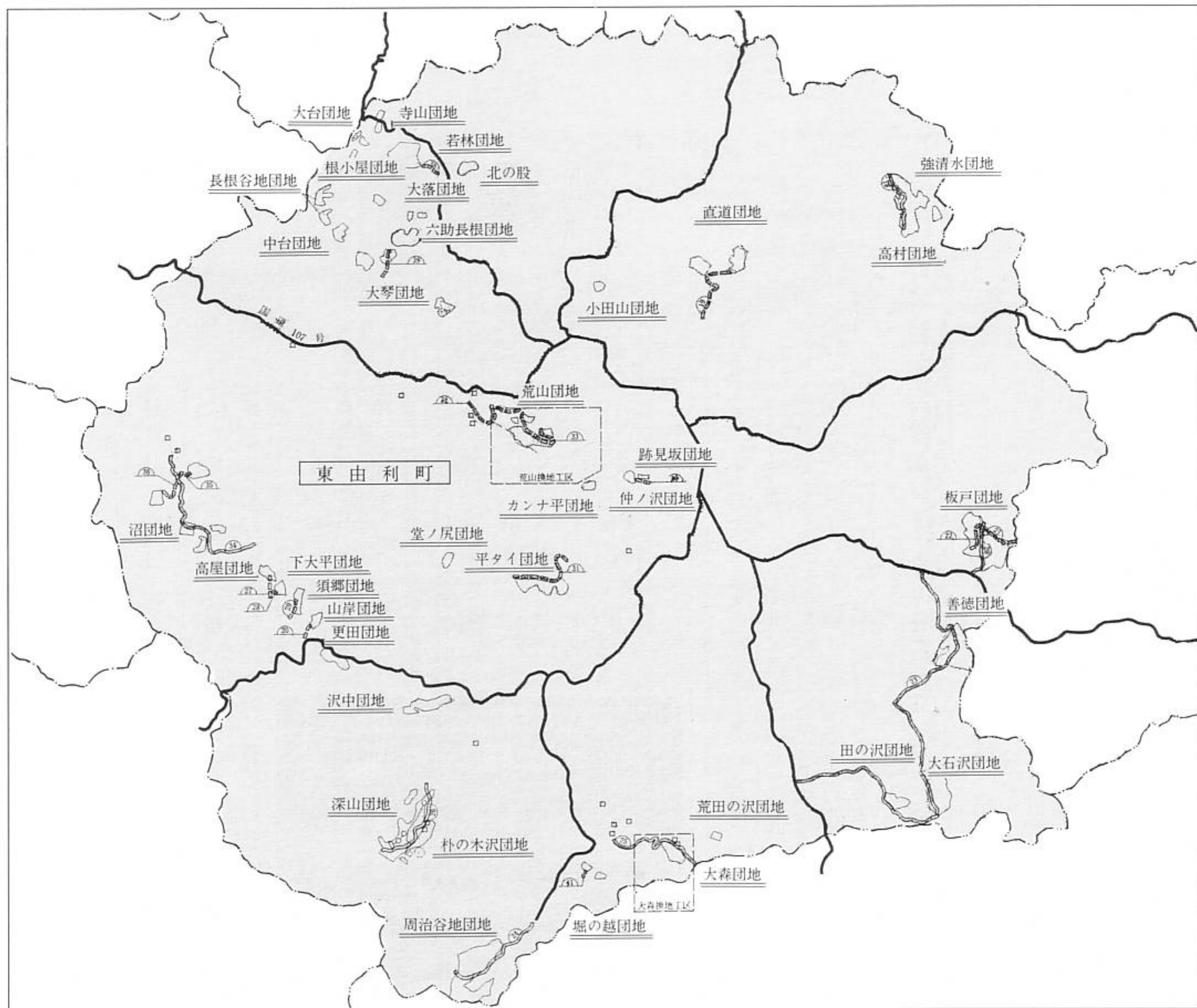
はアメリカ人の中の高級牛肉志向の消費者に、日本の和牛を逆売り込もうとの準備を進めているという。香港では和牛肉が超高値でも飛ぶように売れるという。日本農業新聞のこの報道に、期待と夢をつなぎたい。さて、出羽丘陵開発事業の完成は、畜産振興のために、この期待と夢をつなぐための私どもの長年の努力の結晶なはずである。これを生かすことに、これからを正念場とし、共に畜産の町づくりに頑張ろうではないか。



六助長根団地

出羽丘陵開発事業 団地マップ

出羽丘陵開発事業で整備された草地は下図の37団地です。5面一覧表と照らし合わせてご覧ください。



善徳団地



出羽丘陵開発事業・農用地造成及び道路整備状況

団地名	地区	加入戸数	農用地造成		道路整備	
			採草地	飼料畑	幹線	支線
強清水	高村	(1) 5 ¹⁾	6.3 ^{hm}	1.9 ^{hm}	1,072 ^m	—
高村	〃	1	7.6	—	—	—
直道	上里	5	7.7	—	—	1,480
板戸	板戸	8	19.9	1.3	997	1,060
善徳	善徳	(1) 5	8.9	4.0	7,640	—
田の沢	松柴	4	4.7	—	—	—
大石沢	善徳	(1) 3	7.7	—	—	—
周治谷地	智者鶴	(15) 18	16.5	2.1	1,779	—
荒田の沢	新沢	1	0.8	—	—	—
大森	律沢	12	6.4	—	2,138	—
朴の木沢	石高		12.3 ^(兼用地)	1.2	1,591	—
平タイ	新田	20	7.9	—	—	1,189
荒山	宿	12	5.1	1.7 ^(兼用地)	—	2,197
高屋	高屋	4	1.2	—	—	253
山岸	須郷	1	2.3	—	—	175
須郷	〃	2	2.4	—	—	190
下大平	〃	1	1.4	—	—	176
更田	大吹川	7	4.7	—	—	—
沼	沼	5	6.6	1.6 ^(放牧地)	2,984	392
大琴	大琴	24	8.7	—	510	—
寺山	大台		2.8	—	—	—
大台	〃		0.8	1.6	—	—
根小屋	〃	2	0.9	1.8	—	—
若林	〃	3	4.2	6.3	—	430
長根谷地	〃		5.0	6.0	—	—
大落	〃	(3) 4	0.9	—	—	—
六助長根	〃	(2) 16	7.7	—	—	—
中台	大琴		—	2.4	—	—
小田山	野田	1	0.3	—	—	—
カンナ平	新田	1	1.5	—	—	—
仲ノ沢	跡見坂	1	0.9	—	—	—
跡見坂	〃	1	0.4	—	—	—
堂ノ尻	袖山	3	0.7	—	—	—
沢中	石高	(2) 17	5.2	—	—	—
深山	〃	2	1.0	—	—	—
堀ノ越	律沢	(4) 7	2.7	—	—	—
北の股	蔵	(1) 6	3.9	—	—	—
合計		(30) 203	209.9		18,711	7,112

加入戸数の()は兼用加入者数。したがって実加入戸数は173戸。

市場開設来の高値を記録 最高59万円、平均47万8千円

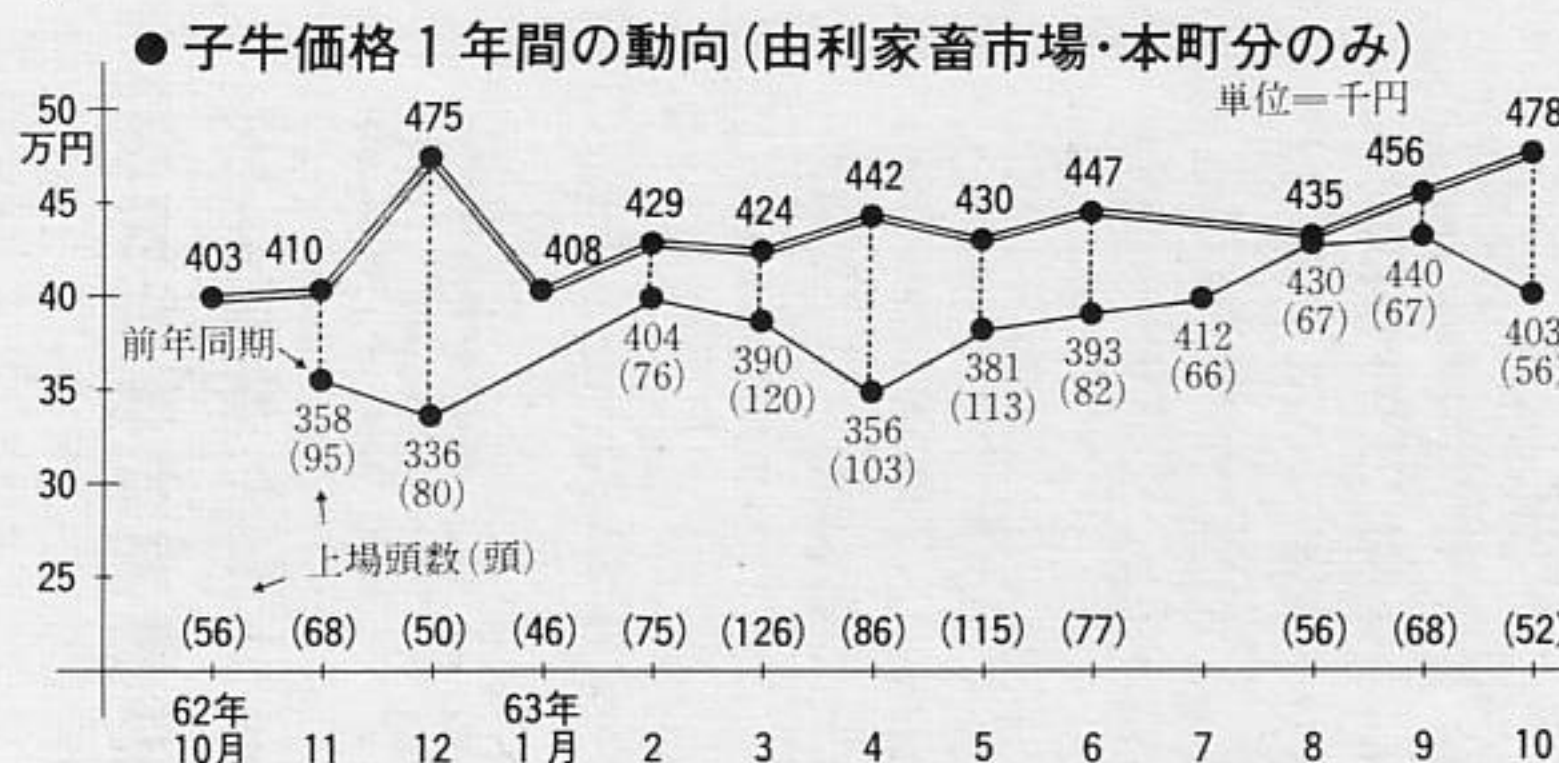
肉用牛の子牛を取引きする由利家畜市場が十月八日本荘市石脇の由利家畜市場で開かれ、一頭当り市場平均価格が四十六万六千円という同市場開設以来の高値が記録されました。

雌	最高	最低	平均
去勢	五九〇	三九五	四五一
合計	五九〇	二八一	四九三
	五九〇	二八一	四九三

牛肉輸入自由化に向け 安定した経営感覚を

子牛市場価格が高騰した背景について、由利畜連の斎藤指導課長は「牛肉の輸入自由化問題を反映し国内の乳雄肥育農家が高級牛肉である和牛に転換しつつあり、和牛子牛の需要が高まっている。また肥育から繁殖に転換する農家が増え、雌の子牛価格が高騰している」と話している。本町にとって、子牛市場の好況は大変うれしいことだ。しかし牛肉の輸入自由化を三年後にひかえているという現実もあり、予断を許さないのが実情です。こうしたことを踏まえ町役場産業経済課の伊東畜産係長は、「昭和五

十五年頃の高値の時も子牛が生まれれば、足一本十万円」と和牛飼養農家は喜んだもの。トータルのには農家経済を潤したと思うが、ややもすれば高く売れた分を消費の拡大に向けたのではないか。今の高値も手放しで喜ぶだけでなく、購入飼料代や草地造成の償還費などのコストを考え、子牛販売代金の中味を見直してほしい。足腰の強い素牛を持つと共に、和牛に支えられた足腰の強い農家になるよう、今のチャンスを生かしてほしい」と話している。



高村団地



今年の町功労者

小松、太田の二氏に 十一月二日有鄰館で表彰式



小松 與惣雄氏
館合字松沢68(76歳)



太田 千代三氏
蔵字新田83(68歳)

議員として二十八年間 町政の伸長発展に貢献

小松氏は、昭和三十五年東由利村議会議員に当選以来、七期二十八年間にわたり議員の要職を務め、

この間総務、産業経済、建設の各常任委員長、監査委員、副議長を歴任し、町議会の円滑な運営と町政の伸長発展に貢献されました。また、玉米財産区管理会長のほか、町社会福祉協議会理事、民生児童委員等、多くの要職を担われ、産業の振興並びに社会福祉の増進に大きく寄与されました。

消防行政及び農業振興

民生の安定などに寄与

太田氏は、昭和二十年下郷村警防団員を拝命、以来三十一年にわたり町消防行政に従事されました。

この間分団長、副団長の要職を担い、消防人の使命を深く認識し、団員の指導練成と防火活動の高揚に貢献されました。また、農業委員会委員のほか、民生児童委員に在任し、農業の振興並びに社会福祉の増進に尽力されるなど、民生の安定に大きく寄与されました。

自治功労章の贈呈 前議会議員4人に

町三役や町議会議員などを長年努められた方に贈られる「町自治功労章」が、前議会議員である次の四人に贈られることになりました。贈呈式は十一月三日の町功労者表彰式の席上で行われます。



小松 與惣雄氏
前議員(議員歴28年)
館合字松沢68(76歳)



川尻 幾郎氏
前議員(議員歴24年)
黒瀬字前田面52(65歳)



遠藤 正男氏
前議員(議員歴20年)
法内字野田122(53歳)



遠藤 治郎助氏
前議員(議員歴12年)
法内字上苗代沢4(66歳)

国民健康保険制度 五十周年を迎えて

国保の歩み

昭和十三年に国民健康保険制度がスタートしてから、今年で五十周年を迎えます。

「国保」は、昭和初期の不況にあえぐ農山漁村民や、都市部の自営業者の医療確保を目的に誕生しました。

昭和三十年代に入り戦後の混乱から立ち直りをみせると、国民皆保険を求める声が高まり、政府は国保を全国に普及させるために、昭和三十三年に現在の新国民健康保険法を制定しました。そして昭和三十六年に、ついに全市町村で国保事業を実施、昭和四十一年には全被保険者七割給付という現実の姿ができました。昭和四十八年には老人医療費支給制度がつけられました。ところが近年、人口構造の高齢化などによる医療費の高騰と、経済の安定成長下での所得の伸びの鈍化などにより、国保財政は急激に悪化しました。特に国保は、①被用者保険の加入者が定年後、国保に加入することなどから中高年齢者の比率が高い②低所得者が多いため、保険料収入が低い、などの構造的な問題を抱えています。

保険税23年連続完納に栄誉

みなさんのおかげで
町が表彰されました

国民健康保険法施行五十周年を記念し、十月七日秋田市の文化会館で開かれた記念式典で、本町が「国民健康保険事業優良団体」として秋田県国民健康保険団体連合会理事長から表彰さ

れました。

表彰を受けたのは本町と北秋田郡合川町、雄勝郡稲川町の三町で、本町では国民健康保険税が二十三年間連続して完納されていることや、各種保健事業に積極的に取り組んでいることなどが高く評価されたものです。特に保険税の完納は県内でも例が少なく、昭和六十二年で保険税が完納となった市町村は、県内では本町のほか由利郡鳥海町だけとなっています。も

ちろん、二十三年間の長期にわたる完納となっているのは本町だけで、町民の大きな誇りとするところでは。

表彰式には畠山町長が出席、阿部勝行同理事長から表彰状と記念品の高級置時計が贈られました。このたびの受賞は、町民の皆さんの納税への理解と協力のおかげであり、今後とも保険税の完納が継続されるよう、また町税等の納入にご協力をお願いします。



表彰状と記念品の高級置時計

このため昭和五十年代後半以降、老人保険制度や退職者医療制度の創設など、いくつかの制度改正が行われました。しかし依然として国保財政は厳しく、今年五月には新たな制度改正が行われました。今回の改正では、国と地方が一体となって国保に取り組むことになりました。その結果、国保加入者一世帯当たりの保険料は、千七百円ほど負担軽減されることになります。現在、国保には約四千万人が加入しています。今回の制度改正は、長寿社会を迎えて国保の足腰を強くし、将来の安定を図るためのステップといえます。

高瀬小学校関係の 皆さんへ

高橋 宏幸

町出身の絵本作家高橋宏幸氏から高瀬小学校にお便りが届きました。町民の皆さんにもご紹介させていただきます。

この度、高瀬小学校創設五年目の祝賀式典にお招きをいただき、ありがとうございます。

四年ぶり、肌を感じた緑ゆたかな故郷の自然と、変わらぬ人情の温かさに、涙もろい私は、目頭の熱くなる感激を覚えたも

のです。特に、都会では見られない健康で純真な子どもたちと接した時は、一人一人抱きしめたい衝動を押さえきれませんでした。このメンケ子どもたちが、美しい風土を守って、幸せの根を下ろすよう願わずにはいられません。

若い人たちの足を留めさせるには、郷土教育が何より肝心。距離的に、時間的に、生活的に、もう、都会に憧れをもつ時代ではないことを認識させる必要があります。

町民こそって町の活性化に努めておられることを、畠山町長さんからうかがい、心強く思いました。なかなか困難な課題とは察せられますが、産業に、施設に、観光に、

衆知を集めて、何か吸引力の強い魅力の一つをつくられるよう期待してやみません。例えば……



高瀬小創立五年記念式典に来町した際、役場にあいさつに訪れた高橋氏・右(九月十日)

◎四季を通じての山菜と草花の公園(研究施設)

◎ミニ・デイズニールランドのような童話公園(館)

◎日本人の古里(太古―縄文―稲作)公園

◎小松兄弟・野外音楽堂(記念館)などは如何でしょう(財政を無視すれば)。

「男子志しを立てて郷関を出ず」という思想は一世紀前の錯覚です。私が郷里を後にしたのは、けっして青雲の志を抱いてではありません。終戦直後のこと、「食」を強いられた、やむをえない事由によるものでした。情況が許されれば、帰郷して余生を過ごせたら、どんなに幸せかと、しみじみ想う

のです。

今日現在、私自身「成功者」とは、これっぽっちも考えておりません。まだまだ発展途上国。たとえボロをまとうとも、招かれたからには喜んで跳んで来たでしょう。私にとって錦と生

理年齢は無意味なものですから。折角、光栄の場を与えられたのに、うっかり十五分もはしょってしまったことを、後で気がつきました。大変申し訳ないことです。その詫びと補足をかね、紙面を頂戴した次第です。教育環境の充実、PTAの皆さんの協力、町の発展を心から念じます。

東由利歴史散歩

文・畑山昭三 町史編纂室

県指定の 湯出野遺跡 発掘調査時は 東日本で最大規模



湯出野遺跡

東由利を代表する遺跡は、昭和五十年のほ場整備により緊急発掘調査をし、翌年三月県の史跡指定を受け、現在町で保存している湯出野遺跡です。遺跡全体の広さは約二百アールもあり、全部を保存すれば国の指定を受けるほど大規模なものでしたが、保存されたのはそのうちの十分の一の広さだけです。遺物から縄文時代晩期（今から約三千年前）の生活の跡がわかり、石器や鉢型、つぼ型、注口つきの土器が多量に出土しました。また、お墓の跡と考えられる土壇墓（穴）がまとまって百三基も見つかり、穴の中から副葬品として勾玉三個、小玉二百五十個、耳飾り二個、土偶五体などが出土し、更に死者の顔に塗るための赤鉄鉱から作ったべ

ニガラが十一基から出たことで、人骨は出なかったものの、当時これだけの規模で土壇が出たのは東日本で始めてと、大きな反響がありました。穴の大きさは縦二十、横六十センチほどの長方形から小判形のものが中心で、発掘時の深さは三十センチ前後でした。土壇はかさ上げし復元しています。この土壇で特に学術的に価値があるのは、南端の三号土壇で、木の枠を使つての埋葬のあとがみられたということです。興味あることは、当時居住区と墓地を区別していたことや、副葬品から身分の違いがあったと思われること、土壇の向きが西や北西方向が多く、現在の風習に通ずる点があることです。住んでいたのは二百年前後です。

消えた鉄路を訪ねて

「第3回ふるさとウォークラリー」開催

紅葉の旧横荘鉄道を歩きふるとの歴史を偲ぼう…との呼びかけで、町公民館が十月二十三日「第三回ふるさとウォークラリー」を開きました。参加者は小さい子供からお年寄りまで五十人余りで、午前八時四十分には町の福祉バスで公民館前を出発。出羽丘陵開発事業の板戸団地とその近くの「八人塚」「安台路」、平鹿郡雄物川町の「大沢番所跡」を見学し、開通



紅葉の景色を眺めながら旧横荘線を歩く参加者

したばかりの国道一〇七号線深井バイパスを通って雄物川町郷土資料館につきました。同資料館では「横荘鉄道展」を見学、このあと同鉄道二井山駅舎跡と湯殿山神社を見学し、同町水沢地内の旧横荘鉄道跡に到着しました。そして、ここから本町祝沢まで紅葉の景色を眺めながら歩いたものです。横荘鉄道は横手を起点に本町老方を結んでいた鉄道路線で、昭和

二十八年に二井山―老方間が廃止、その後も各区间が次々と廃止され、同四十六年には全線が廃止となりました。現在同線は県道横手東由利線として残り、今回ほぼ原型を保っている水沢―祝沢間の約三キロを歩いたものです。旧横荘線を歩き心地好い汗を流した参加者らは、祝沢の笹倉不動滝で昼食、公民館が準備した豚汁に舌つづみを打っていました。

話題いっぱい よちかどトピックス

音楽を通し交流会

本町と矢島町の4年生

本町小学校四年生と矢島町矢島小学校四年生との交流会が、十月六日矢島町の矢島小学校で開かれました。同じ生駒藩に属していた矢島町が立町百年を迎えたことを記念し、また両町の生んだ音楽家の歌を発表し合うことで郷土愛や友情を深め合おうと開いたもので、矢島小からは同町出身斎藤佳三作曲の「矢島の歌」など二曲、東由利連合小からは本町出身小松耕輔



矢島町矢島小学校で開かれた小学4年生どおしの交流会

作曲の「お山の細道」など二曲を、それぞれの代表が解説をまじえ発表。最後に参加者全員で「もみじ」を合唱しました。発表を終え、大琴小学校の加藤宏くんが「矢島町と東由利町を同じ殿様がつとめていたことを知り、つながりの深さを感じた。これからは郷土の大作曲家について学び、お互いに歌を歌い継いでいきましょう」とあいさつし、交流会を終わりました。

ヤングレポート さわやかさん



古関 和枝さん (23歳)

新町・秋田信英(株)勤務

秋田信英(株)に入社し2年。最近工場から事務室に移り庶務の仕事に携わる和枝さんは、「明るいけど気が強く、それでいて小さなことでも気にする典型的なA型です」という「さわやかさん」です。

趣味は料理、カラオケ、スポーツ。納豆汁、肉料理が得意で「結婚しても困らないくらいレパートリーはありますよ」と自慢するほどの料理好きです。結婚は「相手にプロポーズされたら…」で、理想は中井貴一。仕事が忙しく最近残業続きですが「仕事は楽しいと思ってやればサイコーですよ」と話していました。

最後に、「雪は多くて大変だけど、美しい四季のあるこの町が好き」という、うれしいコメントも出してくれました。

東由利駐在所だより

無事故競争で 老人クラブが表彰される

今年3月15日から本荘警察署及び本荘地区交通安全協会が、「シルバーセーフティ200日運動」と称して行っていた老人クラブ別交通無事故競争が、9月30日で終了しました。この結果、期間中無事故を達成した東由利町の全老人クラブ(10単位老人クラブ)に表彰状が、本荘警察署長から贈られました。

今後とも無事故が継続されますよう、交通事故防止にご協力をお願いします。

県内で交通死亡事故多発中!

10月に入ってから県内で交通死亡事故が多発しています。発生時間は薄暮時間帯で、車のライトに惑わされての事故がほとんどです。ドライバーはもちろん、歩行者も夕暮れは十分注意して下さい。

町内青年の交流を バレーボールで

12月から来春にわたり青年
交流スポーツ大会を開催

町農業総合指導センターと町公民館が主催する「第一回東由利町青年交流スポーツ大会」が、十二月二日から来年三月三日までの毎火曜、金曜日の夜、健康増進センターで開かれます。

これは、就業態勢の多様化や交通発達に伴う行動範囲の拡大により、町内に住みながら青年同士の交流機会が減少していることなどから、少しでも若者に交流の機会をと開かれるもので、町連合青年会や町農業近代化ゼミナール、東由利バレーボールクラブの協賛を得て行われるものです。



県大会へ出場する八塩小健児

八塩小が県大会へ

郡市バスケット優勝

郡市小学校バスケットボール大会が十月二十一、二十三日本荘市の鶴舞小学校体育館で行われ、本町から八塩小学校の男女二チームが出場。強豪相手に熱戦の結果男子が準優勝、女子が第三位に輝きました。男子は決勝で強豪の鶴舞小と対戦、五四対四三で惜しくも敗れましたが、来年一月四日から秋田市の県立体育館で開かれる県大会の出場権を獲得しました。



県大会へ出場する八塩小健児

まちかど スナップ



町民のみなさんの撮ったスナップ写真をお寄せください。掲載させていただいた場合には町特製のテレフォンカード(50度数)を進呈します。

街をゆく花嫁 撮影(%)・梅津 仁さん(大琴)

10月は結婚式のシーズン。この日10月9日も日柄が良く、全国的に多くのカップルが誕生したようです。わが町でも有隣館で佐々木興さん(大琴)と佐々木和子さん(同)の、結婚式と披露宴がにぎやかに行われました。写真は、自宅を出て仲人夫妻と共に花嫁姿で嫁ぎ先へ向かう花嫁。道行く人々から熱い視線を浴びていました。

み

ん

な

の

ひ

ろ

ば

この紙面は、みんなで作るページです。町民の交流の場としてどしどし参加してください。自薦、他薦どちらでも結構です。広報担当までお知らせください。

わたしの
お父さん、お母さん

ほくのおかあさんは
おこりんぼです。



新町・さとうまさたかくん(6さい)

伝承・昔の遊び ⑧

お手玉遊び

大琴・佐々木テルさん



お手玉というより「ダマコ取り」と言った方が私達にはピッタリです。家の縁側や日なたぼっこをし



絵・石渡力造さん

ながらムシロの上で「…おさらい…おひとつ、おひとつ…」の歌に合わせて、お手玉をあやつります。曲芸もどきの手さばきと、中に入っている小豆やじゅず玉のぶつかり合うリズムカルな音は、今になっても忘れられない懐かしいものを感じます。難しい芸を得意げにあやつる幼い頃の友達の顔が、昨日のこのように目に浮かびます。

ふるさとを想う ⑧

キノコ採りに出かけて

千葉県流山市小野美千子さん(44歳)下小路出身



キンモクセイの香りのする頃になると毎年のように電話がくる。「ソロソロかもよ。下見してくるからネ」と、同郷の友人。十月のある日、やっと天気に恵まれ、いざキノコ採りに出発。そこは茨

城県牛久市尼家の裏山で、ゴルフ場もあり景色のとてもいいところ。その日は二人っきりで、古里を思わせるような山道をひたすらキノコを探して歩くこと三時間。突然「ミチコさん早く来て。サボダシよ。こっちにも」と興奮した口ぶりの友人。やつのことで見つけたキノコに、二人して抱きあって喜んだ時の余韻が今だに頭から離れません。帰る頃にはシメジ、サボダシ、アケビ、クリで袋は一杯。思ったより多い収穫に二人とも大満足し、「今度ぜひ古里の野山にキノコ採りに行こう」と誓い合いながら帰路につきました。



ものしり家庭版 知っている便利、くらしの豆知識 ⑧

健康機器と健康食品

健康機器にはさまざまなタイプがあります。サイクリングやボートこぎのようなスポーツを、屋内でする擬似スポーツ機器や、ストレッチ体操を助ける補助器具…などです。健康機器は健康を維持、増進するためのもので、購入しただけでは健康にプラスにはなりません。健康機器を買ったものの、すぐ物置に片付けたという人も少なくないようです。また健康機器を使用中に金具などでケガをした、むち打ち症になったなどという例も…。健康維持は、楽しく継続して無理な

くできる方法を選びましょう。

健康食品の中でも、クロレラとやせるための健康食品の害情報(皮膚に湿疹が出た。下痢をした…など)が目立っているようです。また健康食品の契約額が高くなり、国民生活センターの調べでは平均約三十五万円、最高額では二百二十四万円という人もいたということです。健康食品によって身体に異常があった場合、返品しようとしても、クーリング・オフの条件が整っていない場合を除いては、医師の診断書が必要になることがあり、簡単に返品できませんので注意が必要です。

健康ライフ

更年期障害

指導・小松医院・小松良竹先生



顔や体がほてる、汗が異常に多く出る、頭が痛い、疲れやすい、どうきや息切れがする、血圧が上がったり下がったりする、めまいがする、耳鳴りがする、冷え症でつらい等々、人によって症状はいろいろでその程度もまちまちです。知らないうちに消失してしまうことが多いのですが、症状が重くじつとがまんした結果、重大な病気を発覚す危険もありますので、気をつけてください。ほかの病気と見分けをつけるためにも、異常を感じたら早めの診察が大切です。

How to cooking

わが家の自慢料理

転作巻

五海保・八島ミネさん

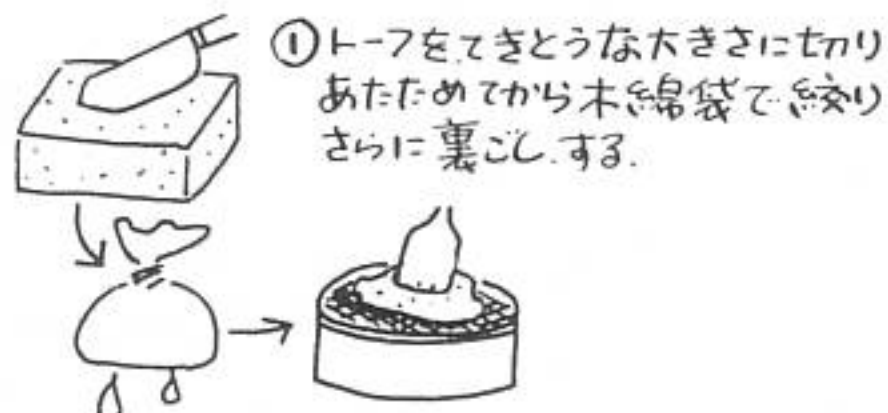
子供のおやつや
法事にも便利



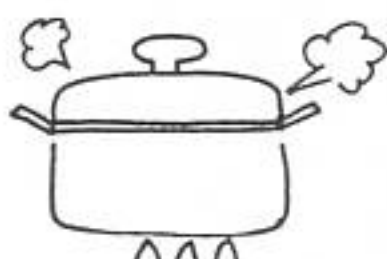
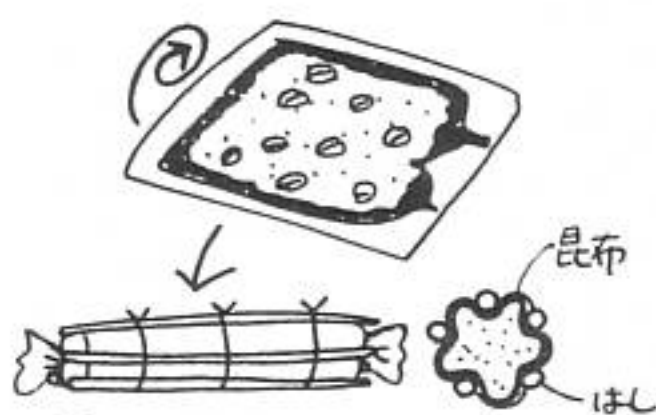
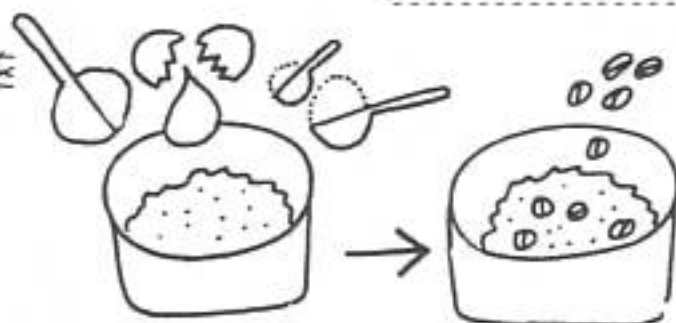
冷凍の枝豆を使えば
いつでも作れます。

材料と分量

- 豆腐 1丁
- 砂糖 100g
- 昆布 5枚
(大きいものは1枚)
- 卵白 半個
- 片栗粉 10g
- 枝豆 少々
- 塩 少々



② に、砂糖、塩、片栗粉、卵白を
入れよくねる。
そして枝豆を入れる



子からホンネ本音親から

大琴小四年
佐藤一祝くん

ぼくは四年生になって、漢字の勉強をがんばっています。そのわけは、三年生のときに習った漢字をよくおぼえていないからです。だから、三年生のときにおぼえなかった漢字を、四年生のうちにしっかりと勉強したいと思います。あとは、計算をゆっくりおちついてやりたいと思います。わけは、ぼくはすぐあわてるから、全校テストで悪い点をとってしまったからです。こんどいい点をとれるようがんばります。



袖山
佐藤利一さん

漢字は小学校のときにすっかりおぼえておかないと、大人になってからたいへん苦労します。それは、漢字を知らない、本や新聞を読むことがいやになり、そのために大事なことをみのがして損をしたりすることがあるからです。学校で習う漢字はできるだけ多くおぼえてほしいと思います。それから計算は、答えがまちがってはなんにもならないので、あわてないで、きちんとすることが大切です。がんばってください。



みんなの健康

検診を終えて

朝夕の冷え込みがめっきりと厳しくなる頃になると、ようやく町の検診事業も終え、いよいよこれらのデータを基にした啓蒙活動の開始となります。

中でも気になるのは、ガン検診を受ける層の固定化が目立ち、受ける人は毎年受け、受けない人はほとんど受けないというのが現実です。



加齢とともに増える病気は、脳卒中はもちろんですが、ガンもその代表であることを忘れてはなりません。おそれる前にまず検診を受け、ああ今年も異常がなかったと安心することがどれだけ重要なことか、病気をしてから気付くのは少し遅過ぎるのです。

昔と違いガンは不治の病気ではなくなりつつありますが、また欠けて油断はできないものです。さあ皆さんは、今年の検診どれだけ受けていますか？

(保健婦・小松友子)

東由利の文芸

ゆりかご句会九月句会から

◆ 菰陰に父祖が懸せし田も稔る
阿部義直(沼)

◆ 澄む水に老醜写し蟹簀あぐ
鈴木徳蔵(舟木)

◆ 新藁にどつかり坐る親子牛
小野貞子(蔵新田)

◆ 秋日和三々五五ゲート勇足
小松慶治郎(高戸屋)

◆ 遠足の秋を彩どる山野草
阿部澄子(蔵)

◆ 老の幸四方に謝して秋さやか
小松徳蔵(湯出野)

初孫です

上通・畠山照未ちゃん・11カ月
安弘さんと静子さんの長女



おばあちゃん、弘子さんの一言「母乳で育ったためか、かぜひとつひかず、離乳後も好き嫌いせず何でも食べるとても元気な子です」

町民カレンダー

3・町功労者表彰式 (有鄰館)
4・インフルエンザ (八塩小・みどり保育園)
9・ (高瀬小)
11・ (永慶保育園)
16・ (大琴小)
25・ (東由利中)

9・一一九番の日
17・心配ごと相談所開設(朋楽荘)
19・20・第3回東光苑文化祭
21・献血車来町
22・健康大学 (有鄰館)
27・全町室内ゲートボール大会 (健康増進センター)



秋の全国火災予防運動
(11月26日～12月2日)

10月★町のミニ統計

●人口()は前月比
●男 2,935人()
●女 3,066人()
●計 6,001人()
●世帯数1,442戸()
()は1月からの累計
●出生4人(40) ●死亡1人(44)

●転入6人(74) ●転出5人(141)
●結婚3組(11) ●離婚0組(0)
●火災0件(2) ●救急車出動6件(69)
●ごみ処理量38t(259)
●交通事故1件(12) ●死者0人(0)
●傷者1人(17) ●飲酒運転0人(1) ●酒気帯び0人(3)

消防は消防活動はもとより災害の予防、救急、救助活動など住民の生活に密着した幅広い活動を行っています。こうした消防行政に対し、より正しい理解と認識を深めてもらおうと設けられたのが、ダイヤルナンバーにちなんだ十一月九日の「一一九番の日」。この機会に改めて身の回りの安全確保、防災について考えてみませんか。

郷土の野草

文・写真 小松忠正



ヤマルリソウ

(ムラサキ科)

山の湿り気の多い林地の崖などに多く見られる多年生の草で、倒披針形のやや大型の毛のある根生葉から、これも細毛のある茎を数本斜めに出し、これには互生した小葉をつけます。五弁の花は初めは、うすい紅色ですが、これが後に藍色に変わり、一株の草に紅藍色の花が咲きほころぶ様は見事です。「ワスレナグサ」という人もいますが、これは似てはいますが栽培される別種のことをいいます。(写真は上里山入口で)

善意

町社会福祉協議会に、ご芳志として小松清男さん(蔵)から金一封が届けられました。ありがとうございます。

ありがとう

町民カレンダーピックアップ



11月9日は「119番の日」

戸籍だより

(9/21) 届出・敬称略

●お誕生おめでとう

9/16 佐々木ゆかり (吉一・長女) 新町
9/20 小松 秀毅 (秀栄・長男) 湯出野
9/27 佐藤 望 (茂一・二女) 松柴
9/29 遠藤 実 (横小路)
9/29 高橋 孝子 (西目町)
10/5 小笠原 順 (土場沢)
10/5 伊藤 理恵 (本莊市)
10/8 佐々木 興 (大琴)
10/8 佐々木和子 (大琴)
10/10 薄井 常男 (羽後町)
10/10 小野まり子 (上里)

●ご結婚おめでとう

9/29 高橋 孝子 (西目町)
10/5 小笠原 順 (土場沢)
10/5 伊藤 理恵 (本莊市)
10/8 佐々木 興 (大琴)
10/8 佐々木和子 (大琴)
10/10 薄井 常男 (羽後町)
10/10 小野まり子 (上里)

●ごめい福をお祈りします

9/24 小松ミサエ (85・清男・養母) 蔵

町民の声を町政に！ 町長の面会日今月は19日

28・法内地区成人病予防学級 (法内克雪管理センター)

編集室から

▼先月号で「紙上町内めぐり」を企画したところ、「行ってきた。よかった」などの連絡が届き、うれしく思いました。役場職員も先月下旬に、職員研修の一環として町内視察を行いほとんどの職員が参加、はじめて踏み入れる場所に感動する人も多かったようです。出かけられなかった方も、いかぜひ回ってみたいと思います。

▼冷害による減収の報道が断えない昨今ですが、本町の場合も地域により差はあるものの、全体で五十六年以来的減収が予想されています。愛用のワープロが故障し修理中です。やはり手書きは能率が悪いです。そんな影響もあって今月は十二ページです。



悩みごと何でも相談

【相談】酒酔い運転で交通事故をおこした場合、酒を提供した人も罰せられると聞きました。【対応】新たに運転する者に酒などを提供したり、飲酒を勧めることは禁止されています。ただしこの規定は訓示規定といわれるもので、罰則はありません。しかし、飲んで車で来て、帰るも車で帰るのを知っていて酒を勧めたのであれば、酒酔い運転の補助で交通違反になり、もし飲んでいる人に酒を飲むよう勧めれば、酒酔い運転教唆罪という共犯になります。注意してください。(町心配ごと相談所)

